

東広島市子ども・子育て支援事業計画（第2期）における
子ども・子育て支援法に基づく「量の見込み」と確保方策の達成状況（令和4年度）

1. 教育・保育

事業	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用量	確保量（定員）
幼児教育	2,033人	2,420人	1,375人	2,401人
保育	5,168人	5,974人	4,834人	5,883人

（令和4年4月1日現在）

【評価】

保育においては、利用量を上回る定員を確保することができたものの、市中心部において利用希望が集中するとともに、一年を通して入所希望者が増加し、入所できていない現状がある。すべてのニーズに応えられていない状況もあることから、受け皿の確保に向け、継続的な取組みが必要である。

2. 地域子ども・子育て支援事業

事業	計画		実績	評価
	量の見込み	確保方策		
利用者支援事業 （地域すくすくサポート等）	15事業 （12施設）	15事業 （12施設）	17事業 （13施設）	引き続き、子どもの数が多い地域の利用ニーズに対応していく必要がある。
地域子育て支援拠点事業 （地域子育て支援センター）	108,540人	108,540人	74,541人	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が伸び悩んだと思われる。
妊産婦健康診査	32,072人回	32,072人回	24,075人回	必要な健診は実施できているが、出生数の減少により、実績が計画を下回っている。
乳児家庭全戸訪問事業	1,691人	1,691人	1,440人	ほぼ全て（99.4%）の家庭に訪問しているものの、出生数の減少により、実績が計画を下回っている。
養育支援訪問事業	520件	520件	733件	新型コロナウイルス感染症による外出の自粛等により、子育てに不安を抱える家庭が増加したため、訪問件数が増加したと思われる。
子育て短期支援事業 （ショートステイ、トワイライトステイ）	36人日/年	36人日/年	29人/日	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設側が受け入れできないケースが一時的に生じていたため、実績が計画を下回っている。
一時預かり事業 （保育所（園）等における一時預かり）	9,530人回/年	9,530人回/年	4,606人回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が伸び悩んだと思われる。
一時預かり事業 （幼稚園在園児）	81,064人回/年	81,064人回/年	32,022人回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が伸び悩んだと思われる。
一時預かり事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	1,037人回/年	1,037人回/年	1,760人回/年	習い事への送迎等の定期的な利用が増加したため、実績が計画を上回ったと思われる。
病児保育事業	3,879人日/年	3,879人日/年	1,031日/年	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が伸び悩んだものの、現在は回復傾向にある。
延長保育事業	1,211人	1,211人	1,913人	受入体制を確保し、計画を上回る利用実績に対応することができた。引き続き、利用ニーズの高い地域での体制確保に努める。
放課後児童クラブ （放課後児童健全育成事業）	2,848人	2,890人	2,964人	計画を上回る利用実績となった。地域によっては待機児童が発生していることから、当該地域での受入施設の確保が急務と考えている。

（令和4年度）